遮熱・遮光で人や商品守る

水害対策製品にも力

カーテン・シート工法

石 塚

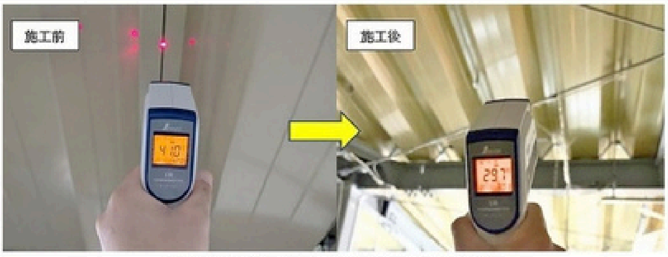
プラスチック製品の製造販売を手がける石塚（東京都千代田区）は「働く人や商品を守る」をコンセプトとした製品作りに力を入れている。主力のビニール関連事業では暑さ対策や防虫、紫外線対策など顧客のニーズに合わせて製品ラインアップを拡充。近年多発する豪雨による水害に向けたソリューションも提供し、顧客の困りごとにいち早く対応する。

熊谷社長

工場や物流倉庫などの作業現場では屋根や壁からの輻射熱、機械設備からの発熱などさまざまな要因が重なることによる高温化が問題視されている。作業員の安全や製品品質を担保するため、２025年6月から熱中症対策義務化された。

こうした状況を受け、石塚は遮熱効果のあるビニールカーテン製品を訴求している。材料の卸売りから製品加工、施工まで一環で手がけるワンストップソリューションが強みで、顧客要望に柔軟に対応する体制も好評を博している。

遮熱効果のある製品の中でも売り上げが大きく伸長しているのが、26年5月に発売した「サーモバリア スカイ工法」だ。販売から3カ月で販売目標金額の2倍を達成。熊谷弘司社長は「熱中症対策の義務化に加え、展示会の出展などによる製品周知が功を奏した」と目標達成の要因を語る。



スカイ工法で約11度Ｃ温度が低下

スカイ工法を屋根に貼り付けるだけで太陽からの輻射熱を97%反射し、室内温度が約11度Ｃ下がる。建物内の温度が下がることで作業効率も施工前の1・5倍に伸長するといったデータも得られている。

従来、熱対策として用いられていた遮熱塗装では作業者の技量や工期の長さ、屋根の接合部からの雨漏りといった課題があった。同製品を施工することで、こうした課題を解決できる。

さらなる拡販を目指し「展示会の出展エリア拡大や高い評価を得ているデモ機での実演による営業活動増加など、行動量の目標を設定することで来年以降の種まきを行う」（熊谷社長）考え。

溶鉱炉など発熱する機械を囲って温度上昇を抑制する従来製品「サーモバリアフィット」も好調に売り上げを伸ばしているという。カーテン1枚といった小さなサイズから使用できるため導入のハードルが低いのも伸長の要因の一つだ。高さのある屋根の裏への施工や局所的な遮熱効果の付与といったスカイ工法が使用できない個所への需要が高まっており「顧客や市場からの熱中症対策の意識の高まりを感じている」（熊谷社長）。

ビニールカーテン製品の新たな用途展開にも取り組んでいる。休憩所などで使用されるスポットクーラーとビニールブースを併用することで局所的に涼しい空間を確保する。作業効率の向上や電気代の節約にもつながるとして顧客からの問い合わせも増加している。現在は透明性のあるビニールに反射による遮熱性を付与した製品を材料メーカーと共同開発中だ。枝葉のニーズまで捉えた製品開発に取り組んでいる。

今年に入って需要が急増したのが水害対策用製品だ。気候変動リスクに対応するため25年から取り扱いを開始した。8月に発生した千葉豪雨による水害を受け、9月中旬時点で前月比6倍の問い合わせが届いている。

同社の水害対策用製品は高い止水性と設置のしやすさが特徴で、浸水を防ぎたい箇所に合わせた対策ができる。熊谷社長は「水害対策用の製品は被害に遭わないと導入が進まないというもどかしさを抱えている。前もって製品の訴求をしていくことで被害を未然に食い止めたい」と熱意を示した。

9月には商品企画部を新設し、商品の開拓や開発を専門で担当する体制を整備。顧客のニーズや課題解決に貢献できる製品ラインアップ拡充により一層注力する方針だ。

使用ずみPE付きクラフト袋

段ボールに再生利用

王子ＨＤ
伊　藤　園

王子ホールディングス（ＨＤ）は伊藤園と共同で、使用ずみのポリエチレン（ＰＥ）付きクラフト袋を段ボール原料として再資源化する取り組みを9月に開始したと発表した。伊藤園の静岡工場（静岡県牧之原市）で茶葉の運搬に使用したクラフト袋から紙繊維を回収し、同社のリーフ製品用梱包段ボールに循環利用する。年間約20㌧の使用ずみ包装材を資源として活用し、廃棄物削減と資源循環につなげる。

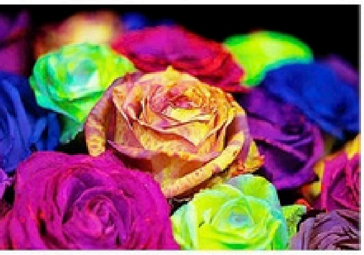
茶葉の湿気を防ぐためクラフト紙にＰＥをラミ

却処分されていた。

今回の取り組みでは、王子ＨＤの技術によりＰＥ付きクラフト袋から紙の繊維分を回収し、段ボール原料として再利用する。その段ボールを伊藤園の製品梱包に使用することで、包装材を再び包装材として活用する循環

ＤＩＣの生花発光システム

横浜高島屋で一般初公開


暗所での幻想的な発光が特徴

生花本来の色彩を、暗所ではブラックライト照射による発光を楽しめる。「花は2度咲く」をコンセプトに、横浜市の市花であるバラの新たな鑑賞体験を提案する。

ラディリスは、ＤＩＣのコア技術であるカラーサイエンスを生花に展開したもので、生花が持つ本来の美しさと暗所での

取り組みから生まれた。

今回の展示では、横浜高島屋の1階正面玄関に明暗2つの空間を設置し、バラの異なる表情を見せる。生花由来の色彩と幻想的な発光を組み合わせ、従来とは異なる生花の楽しみ方を提示する。

今後は商業施設や展示会に加え、アーティスト

造作風洗面化粧台シリーズ

壁水栓仕様など追加

アイカ工業

アイカ工業は造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」シリーズの新仕様・新アイテムを15日に発売すると発表した。日本国内でも人気が高まる壁水栓仕様（写真）をオープンスタイルの「スマートサニタリーＵ」で実現したほか、「フィットワイドミラー」も新たに開発した。

スマートサニタリーは、オーダーメイドのような高い自由度で洗面空間を実現できる洗面カウンター。手の届きやすい価格で自分好みにコーディネートできる点が消費者から評価されており、トレンドや顧客の要望を反映しながらラインアップを拡充している。

今回、カウンター周りをすっきりさせやすい壁水栓仕様を新たに追加する。壁付け水栓の場合、壁の内部に配管スペースを設ける工事が必要になる。カウンター上に設けたライニング内で配管する構造とすることで、大がかりな工事を行わず壁水栓の意匠を実現した。

同シリーズは幅を1㍉単位で自由に設定できるのも特徴の一つ。カウンター幅に合わせてミラーの幅も細かく調整したいという要望を受けてフィットワイドミラーも開発した。高さは7

㍉、幅は600～1
0㍉の範囲で1
位のサイズ指定が
カウンターとミラ
を合わせやすく、
の間にぴったりと
ることもできる。

手軽に貼れるデザイン壁紙第2弾

アキレス

ＩＪ印刷で繊細な柄と多彩な色合いを実現

アキレスは、既存の壁紙の上に自分で貼れるデザイン壁紙「壁ＳＴＲＹⅡ（カベストリーツー）」の販売を開始した。既存の壁紙を剥がさず上から貼って手軽に部屋の雰囲気を変えることができる5柄18アイテムを揃える。

新製品は2024年から販売している壁ＳＴＲＹの使いやすさを継承しインクジェット（ＩＪ）印刷の特徴を生かした繊細ながら多彩な色合いを実現したデザイン壁紙の

第2弾。裏面のシ
工により糊付けの
かからず既存の壁
にそのまま貼るだ
単施工。一人でも
てやすく貼る位置
しやすいサイズで
ミやカッターナイ
ットし壁の全面や
貼ることができ、
トリーを掛け替え
に気軽に部屋の模
が可能。特殊不織
リース）を使用し
クハウス（室内空気
ムアルデヒドの放散
症候群の原因物質
等級で最も少ない
のＦ☆☆☆☆を取
いる。

アキレスウェブ
プ（https://ach
webshop.com/c
om/wallpaper）で
する。価格は1ロー
45㌢×長さ3㍍）
00円で、色味や
ンを事前に確認で
Ａ4サンプルも3
で販売する。今後
アイテムを拡充し
く。

消費者団体など向け説明会開催

抗菌・除菌認証機関連絡会

抗菌・除菌などのマークを認証する4団体で構成する「抗菌・除菌認証

議会（ＳＥＫ）、抗
技術協議会（ＳＩ
光触媒工業会（
Ｊ）、日本衛生材料
会会（ＪＨＰＩＡ）
団体。2025年
ＳＩＡＡがホスト
て4団体で構成す